

“パーツケア”の
発想から
生まれた
髪にも身体にも
使える
オールインワン
のプロダクツ



爪に走る縦ジワの
正体ってナニ?!

爪に光を反射させたときに薄っすら見える縦ジワ。読者のなかにも、この縦ジワが昔より濃くなった、あるいは本数が増えたと感じる人もいます。何を隠そう、この縦ジワは、れっきとした老化の現れなのだとか。

ヘアカラーからスタートし、ヘアケアブランドを追加した『オリヴァニー』(アモロス株式会社)に、このたび加わった新ラインは、そうした身体のエイジングケアにうってつけの製品だ。

「新たに加わったのは、『パーツケアライン』です。パーツケアは、その名の通り、身体の“パーツ=部分”をケアするアイテムです。

今回は、ネイルケアやハンドケアをメインとした『オイルバーム』と、手やヒジ、ヒザ、かかとなど乾燥しがちな部分をメインにケアする『オイルミスト』の2つをつくりました

そう話すのは、同社技術研究所 研究課の辻さん。辻さんによれば「乾燥対策こそが、“今”の美容の最大のポイント」だと話す。

「乾燥と言えば、昔は冬だけでした。でも、最近では夏でもエアコンが当たり前で、空気は乾燥したままです。

年中お肌や髪は水分不足に悩まされているんです。だから『いかに日々、乾燥させないか=美容の生命線』と言っても過言ではないんです」(辻氏)。

とはいえ、日々のケアするものだけに、身体に負担の

あるものは避けたいところ。新アイテムに配合されている成分について、研究課の磯上さんは言う。

「そもそも『オリヴァニー』そのものが、オリーブとハニー(はちみつ)という天然成分をベースにつくったブランドなので、配合には自信があります。

今回の2アイテムには、オレングラフィードという天然成分を配合しました。この油は、ニュージーランドの深海でとれる高級魚・オレングラフィードから抽出したものです。

特長は、ヒトの油分の組成に近いと言われるホホバ油よりもさらに近い組成であること。そのため、肌なじみがよく、サラッとベタつかず、かつ、みずみずしい感触を出すことができます

ネイルやハンドのケア以外に
スタイリング剤にもなる!

「ネイルケアに使う『オイルバーム』には、フェザーケラチンも配合しています。このケラチンは、一般的な羊毛ケラチンと違い、面で吸着するんです。

イメージで言うと、羊毛ケラチンは、テグスのような膜を形成します。対してフェザーケラチンは、クリアファイルのような膜をつくることができます。これにより、広範囲を滑らかにカバーすることができるんです」(磯上氏)

しかも今回の2アイテムは、ケア剤として使えるだけでなく、スタイリング剤としても使えるのもポイント。「オイルバーム」は、スタイリング剤として使うと、マットなツヤ感が表現できる。

「オイルミスト」は、独特のツヤを表現しつつ、ベタつきがないのがポイント。まさに2アイテム共に、今の時代にマッチした“オールインワン”の機能も兼ね備えているわけだ。

「剤の成分や機能だけでなく、使い勝手も大切にしています。例えば『オイルバーム』は、爪のケアがメインの用途なので、剤型にも注力しているんです。

女性がネイルケアやハンドケアをするときに使う一般的な剤は、ジャーカップに入った剤型であることが多いんですね。

でも、これだとジャーからすくうとき爪の間に剤が入ってしまい、とても不快なんです。だから、剤型は絶対、チューブと決めていました」(磯上氏)

女性目線で作られたから
メニュー化も簡単

「オイルミスト」にも、女性ならではの細かな配慮が入っている。

「ヒジやヒザなど、女性が乾燥をケアしたいところにはすべて使ってほしいのが、『オイルミスト』です。

なので、“ワンタッチのスプレーで簡単に塗布できた”というところから開発しました」(磯上氏)

スプレーになるミスト剤型は、水分ベースである必要がある。なのに、「オイルミスト」は、油性の成分。スプレーから噴射したら、ベタッとしたオイルが吹き出すのでは。

「その部分が一番苦労したところです。先述したオレングラフィード油はどうしても使いたい成分だったのですが、そのままでは粘度が高いのが難点でした。

このオイルの粘度を下げる成分が必要だったんです。ただし、粘度は下げてもオレングラフィード油の良さはなくさない成分である必要もありました。

さらに『オリヴァニー』ブランドのコンセプトでもある“天然由来”にもこだわったんです。該当成分を探すのに、かなりの時間を費やしました。

そこで発見したのが、テンサイ(砂糖大根)由来の緩いオイルだったんです。このオイルの軽くてサラサラした質感がオレングラフィード油とも相性がバツグンで、オイルでありながらミストにもなるという“いいとこ取り”ができました

女性ならではの視点で作られた製品だけに、メニュー化も簡単だ(至福のハンドケアを参照)。

またサロンではハンドケアのメニューとして打ち出し、そこから店販につなげるなど、いろんな展開も期待できる。

「トータルビューティ」というと数層が高く思う技術者は多いが、今回の2アイテムがその数層をかなり低くしてくれているのは確実だ。



オリヴァニー
OVオイルミスト
50mL

ハンド エルボー ニー
ヒール ヘア



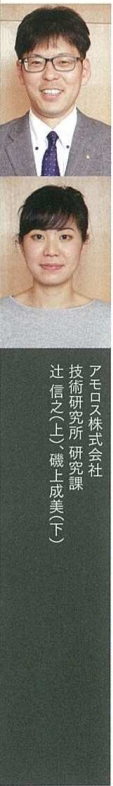
オリヴァニー
HNオイルバーム
50g

ネイル ハンド
スキン ヘア

- 1 HNオイルバームを使ったハンドマッサージ
- HNオイルバームをゴマ粒大程度、爪の根元に出します。
- 2 親指に少し力を入れ、円を描くようにツヤが出るまで爪全体になじませます。
※お客様がネイルアートをされている場合は、爪の根元、周り、爪先になじませます。
- 3 パール粒大のバームを施術者の手になじませ、小指から順番に、根元→指先へ圧をかけてゆっくり滑らせます(各5回程度)。
- 4 手の側面を包み込み、親指全体に適度な力に加え、手の甲から側面へゆっくり滑らせます(10回程度)。
- 5 手の平下部の中心から「X」の字を描くように、親指に少し圧をかけて滑らせます(10回程度)。



ハンドケアの仕方を動画で見たい方は、コチラ!



アモロス株式会社
技術研究所 研究課
辻信之(上) 磯上成美(下)